

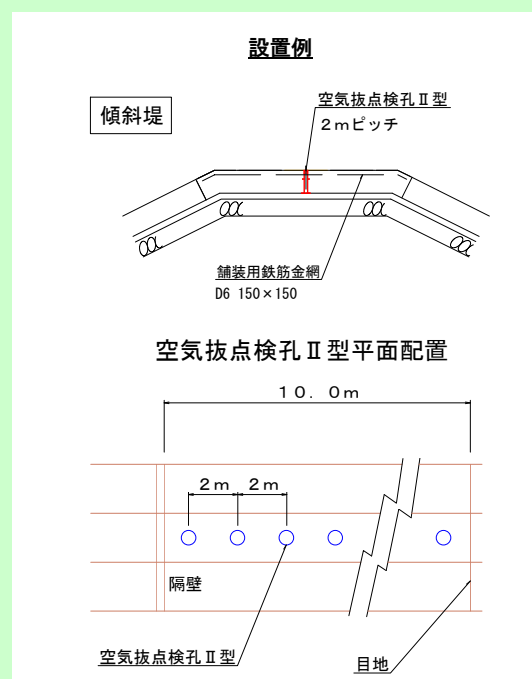
# 空気抜点検孔Ⅱ型

本製品は、海岸堤防及び河川堤防の天端部に設置するもので、津波襲来時の堤防内水位上昇に伴う揚圧力対策として堤体内空気の排出孔の役割を果たすほか、堤防天端部の空洞化維持管理も兼ね備えた点検孔です。

河川、海岸の堤防天端は、圧密に対する盛土期間が十二分に確保できないことから、圧密沈下が発生し、堤体土内に空洞ができることにより被覆部コンクリート、または、ブロック等の破損の要因となります。

それらを未然に防止するために、点検孔（空気抜き）を設置して、定期的に堤防点検を実施する必要があります。また、河川水位の上昇、津波襲来時には堤内水位の上昇に伴い、堤体内土に揚圧力が発生して堤体内部上方に滞留し、空洞発生の要因ともなり、ひいては上部コンクリートのひび割れ、破損につながります。さらには、災害時等は越流して堤防の崩壊につながります。

以上の要因を早期に見出し、対策が行えるように本製品「空気抜点検孔Ⅱ型」を開発しました。



## 『空気抜点検孔Ⅱ型』の特長

1

### 堤体内の有害な空気圧を放出

揚圧力発生時には蓋が上昇し、堤体内の有害な空気圧を放出します。放出後は、蓋の重みで自然に降下しますので、点検作業目的以外では蓋の開閉を必要とせず、省力化が図れます。

2

### 現場で簡単に設置が可能

本製品の本体管下端にはベースプレート（円形または四角形）が接合されており、建てこみ作業時は安定性が保たれるため施工性が増します。

3

### 人の往来、二輪車の走行等に支障がない

点検時の蓋の開閉は専用のハンドルを挿し込んで回転させながら開閉しますので突起物がありません。よって、蓋の表面が平坦であり、人の往来、二輪車の走行等に支障をきたしません。

4

### 悪戯、盗難防止対策

蓋のソケット部分に溝を設けて、本体管内部に取付けた棒状のストップ材に嵌め込むことにより、降下後は元の位置に復元します。また、ソケットの溝をZ形状にしたことで、悪戯等による蓋の開閉を困難にしました。

『空気抜点検孔Ⅱ型』蓋の開閉



専用のハンドルを用いて蓋を開閉します。



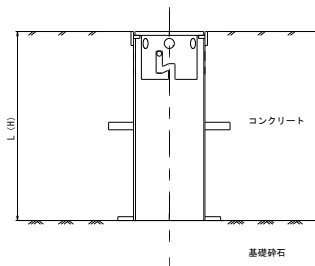
内部にはカメラを入れ調査することも可能です。

『空気抜点検孔Ⅱ型』の仕様

内 容	
標準規格	長さ L=300mm ~ 600mm
材 質	SUS304

図 面

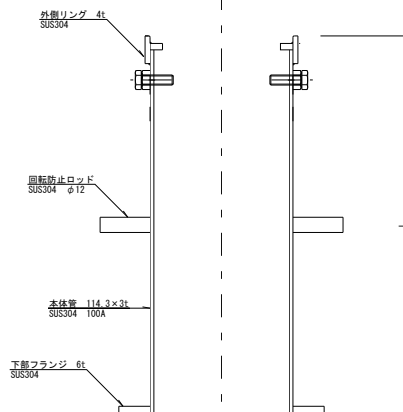
点検孔一般図



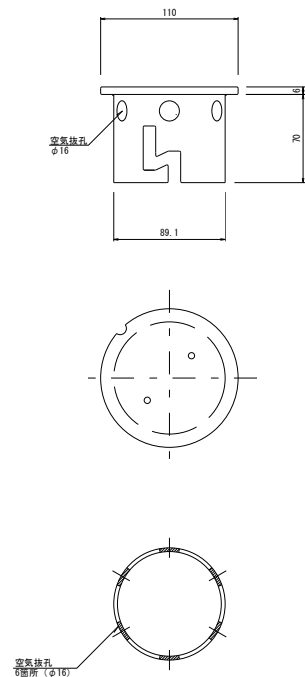
L=300mm

L=600mm

本体管詳細図



蓋詳細図



お問い合わせ先はこちら

日新興業株式会社

〒882-0812  
 宮崎県延岡市本小路74  
 TEL 0982-33-2457 FAX 0982-21-3745  
 土木部 特殊技術推進  
 TEL 0982-33-2456 FAX 0982-21-3745

( MEMO )